

Sports Net

ちば 2020年10月号

New Japan Sports Federation in Chiba Prefecture
2020年10月1日

「スポーツは平和とともに」

新日本スポーツ連盟千葉県連盟

〒263-0024 千葉市稲毛区穴川3-1-17

Tel 043-287-7353 Fax 043-256-1454

URL <http://njsf-chiba.perma.jp>

E-mail njsf1970chiba@gmail.com

発行人 園川 峰紀

通巻 222号

C1リーグ戦開幕！！

千葉県サッカー協議会の新しい船出！！

9月13日（日）千葉県サッカー協議会の2020-2021シーズンが始まりました。

その名も「千葉No.1リーグ」！略して「C1リーグ」来年3月までの半年間で参加5チームがそれぞれ7試合を行い千葉のチャンピオンを決めるリーグ戦です。

当日の会場は「稲毛海浜公園・球技場」。一步、会場に足を踏み入ると濃い緑色の天然芝が目飛び込んできます。参加した選手も一応に「スゲー！こりゃいいや！」と感嘆の声が上がりました。開幕戦には最高の舞台。リーグ戦の期間中は開幕戦を含め同会場は3回の利用となりますので選手のモチベーションを上げるにも大いに寄与するのではないかと感じました。

大会開催にあたり、運営委員長・Iさんからコロナ対策を含めたガイドラインの重要性の訴えがあった後、9時30分に第1試合「エムドリ」と「HELLCATS」の試合がキックオフ！

事前情報によれば、両チームの競技レベルはかなり高く競った試合展開となる予感。

開始早々は様子見が続き、お互いにシュートを放つもいずれもゴールキーパーに阻まれゴールネットを揺らすことができませんでしたが、開始9分後、エムドリのカウンター攻撃から待望のゴ~~~~ル！



ボールキープのHELLCATS

前半戦は

HELLCATSがボールを支配するもなかなか同点に追いつくことができませんでしたが

が、ハーフタイム後の後半戦はHELLCATSの選手達が見事相手ゴールを断続して襲う展開。そして終了直

前に待望のゴールで同点に追いつき、そのまま試合終了。

HELLCATSのマネージャー「(同点で終わって)ま〜！良しとしよう！」

一方、相手チームに得点を献上したゴールキーパーの選手は「(ボールの勢いは)練習では止められるぐらいだったので

めっちゃ悔しい！」と对象的な感想が寄せられたのは印象的でした。

第2試合は社会人チーム「FCミラノ」と初参加のIT



専門学校の学生チームの「東和FCマインズ」の対戦。11時10分キックオフ。開始早々はFCマインズが攻勢的に攻めていましたが、開始18分後、ミラノがゴールネットを揺らし先制点を得る。

しかし、その4分後、ゴール近くでFCマインズがペナルティキックのチャンスを得て、この機に同点。試合はこのままつれるかという雰囲気でしたが、ハーフタイム後の後半戦はFCミラノの怒涛の攻撃がさく裂。次々に放たれるシュートがゴールネットに吸い込まれ、終わってみれば5対1の大差でFCミラノの勝利。

FCミラノのピンクのユニフォームがピッチを駆け回る姿に「お父さん、頑張れ〜〜！」の子供さんの応援と重なりアットホーム感も垣間見える試合でした。

頂上を極めるのは果たしてどのチームか？ 次の試合は11月8日（日）中田スポーツセンター球技場となります。どのチームもコロナに負けずがんばれ〜〜！！

(園川記)

卓球大会 (千葉県スポーツ祭典・団体戦) を再開 コロナ対策を綿密に

9月21日(月・祝)千葉・ポートアリーナで第56回千葉県スポーツ祭典・卓球団体戦を開催しました。

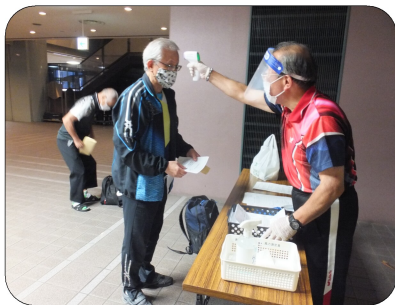
実に今年1月25日(日)花島体育館で開催した冬季卓球大会から8ヶ月ぶりの大会でした。

年間計画ではこの日は全国大会予選会を兼ねた個人戦でしたが、9月5日(土)の団体戦がコロナ禍のため中止となり、改めて全国大会予選会無しのオープンの団体戦として開催することになりました。

試合内容も日本卓球協会のガイドラインに従いダブルスを止めてシングルスのみ。

また、“密”にならない様に卓球台30台に制限し、千葉県住民のみの参加としました。

卓球台の関係から数チームをお断りしましたが、大会には男子42チーム、女子32チームの合計74チームが参加しました。



事前に試合上の注意などのお願い文と健康チェックシートを郵送。

消毒液・卓球台を拭くペーパータオル・使い捨て手袋・フェスシールド等を購入、万全の構えで当日を迎えました。

試合方法は3人の合計年齢で男子の場合はA(109才まで) B(180才まで) C(180才以上)に分けて5~6チームのリーグ戦を行いました。

開会式後、大きな声援は無しとのことでした。いつもと違う《静寂》の中での試合開始となりました。

とは言っても始まってしまえば各コートとも熱戦続き。



特に三人の合計年齢が109才の若い男子のリーグや120才までの若い女子のリーグではいつもと変わらない激しい試合内容となりました。



密を避けたゆったり配置

参加者からは「久しぶりの大会で緊張しつつもこうして皆さんと卓球が出来る機会を設けて下さったことに感謝いたします」(フラミンゴ)。

「コロナの中、進行・人数など丁度良い試合で楽しく出来ました」(カメラード)

「久しぶりの試合でとてもリフレッシュ出来ました。役員の方々の準備もきちんとしていて大変だっただろうと想像します」(杏仁クラブ)との感想も頂きました。

試合結果 (各リーグ優勝チーム)

男子A-1ブロック	中央クラブ・A
男子A-2ブロック	ピポソテーション美浜
男子A-3ブロック	みっ会
男子B-1ブロック	カメラード・A
男子B-2ブロック	ヤチスマ・B
男子C-1ブロック	BTC
男子C-2ブロック	JUST・B
男子C-3ブロック	カメラード・B

女子Aブロック	MAKUTAKU・B
女子B-1ブロック	フラミンゴ
女子B-2ブロック	カメラード
女子C-1ブロック	うすいクラブ
女子C-2ブロック	北極星・B
女子C-3ブロック	りゅうクラブ

2020年 秋のバレーボール大会

男子は千葉ZELVA：A、女子は健友会が優勝

新日本スポーツ連盟千葉県連盟主催の「2020年 秋のバレーボール大会」が、8月23日（日）四街道総合公園体育館（男子決勝リーグ前半、女子決勝リーグ）と9月12日（土）花島運動公園体育館（男子決勝リーグ）に開催されました。

今回の大会は、コロナ禍の中、開催する事も危ぶまれていましたが、大会関係者や参加チームも協力もあり無事終える事が出来ましたので、試合結果と共に参加者の皆さんのコロナ禍奮闘記をお伝えします。

まず危惧したのは、エントリーチームがいるのか、大会運営費は足りるかと言う事でした。結果、女子の4チームは最近の傾向でしたが、男子は2チームの申込みと大会開催も危ぶまれる結果となりました。

そこで、Sports Net ちば 2020年8月号にも紹介されました、千葉ZELVAへ参加を依頼し、快諾の上、2チーム（Aチーム、Bチーム）の参加が決まりました。

また、追加として松戸ダイヤモンドの参加申し込みもあり、今回は、男子5チーム、女子4チームで大会を催すことになりました。大会開催の準備に大きく立ちはだかったのは、やはりコロナの影響でした。

会場の四街道総合公園体育館の使用条件として、検温、手洗い、書類提出等、一般的なコロナ対策は当然として、その上に、男女トイレの1時間毎のアルコール掃除、アリーナ以外の使用禁止及び出入り選手毎の確認など、思ったより大変な対応をしなければなりませんでした。

当然、現役員では足りませんので、役員の面識がある千葉市バレー協会の役員（女性）と千葉ZELVA事務局にご協力をお願いしたところ、快くお受けいただきました。（もちろんトイレアルコール掃除も含めてです）

その様なコロナ対応に追われている役員に対し、打ち合わせ時の試合スケジュール表1枚で、

各チームが協力し合いながら、コート設営、試合運営、そしてゴミ一つない撤収まで、男女リーグ戦が滞りなく行えたのは、大会参加全チームの協力があったからこそだと思います。

大会2日目の花島運動公園体育館での男子決勝リーグ後半戦でも、同様の協力の中、全日程を終える事が出来ました。

本当に、参加して協力して下さった各チーム、各選手の方々のスポーツマンとしてのレベルの高さに敬服し運営へのご



協力には感謝の念しかありません。

大会の経過及び結果は、女子リーグ戦では、健友会、ONE、わっしょい、Annexの4チームが参加し、3戦全勝の健友会が優勝、2勝1敗のAnnexが準優勝、1勝2敗のONEが3位、3敗のわっしょいが4位となりました。

勝敗以上に各チームの実力差は無く、どれも接戦であったのがとても印象に残っています。

男子リーグ戦は、VC千葉ッツ、KTAG、千葉ZELVA A、千葉ZELVA B、松戸ダイヤモンドの5チームで、2日間の日程で行われました。

結果は、4勝の千葉ZELVA A、3勝1敗の千葉ZELVA Bが準優勝、2勝2敗のKTAGが3位、1勝3敗のVC千葉ッツが4位、4敗の松戸ダイヤモンドが5位という結果となりました。

やはり、来期Vリーグ参戦が決定している千葉ZELVAが実力的にも頭一つ出ている感じは否めませんでした。各チームが臆することなく立ち向かう姿に、スポーツの素晴らしい一面が観えた気がしました。

バレーボール協議会 吉川 明

常任理事会報告

第48期第5回常任理事会は、9月17日（木）県連事務所において常任理事8名の参加（1名はZOOM参加）で開かれました。

〈報告・連絡事項〉 レジユメに沿って報告されました。

- ・バレーボール 8/23、9/21に秋のバレーボール大会が開催
- ・ミックスバレー 11/15の板橋区との交流大会現在15チームが参加予定
- ・卓球 10/10個人戦111名が参加予定
- ・テニス チーム対抗、男W、女W、ミックス大会を実施。
- ・野球 毎週日曜にリーグ戦開催。
9/21決勝トーナメントで千葉代表を決める。
- ・スキー スキー祭典中止を決定。
- ・ウォーキング 9/18加曽利貝塚ウォーキング

〈協議事項〉

1. 千葉県連盟50周年記念行事の開催の可否について理事全員に意見を伺う葉書アンケートを実施する
アンケート結果をもとに4役会議で決定する。
2. 対県・対市交渉について
昨年度に依頼した団体に今年も依頼する
各協議会での大会会場でも集める努力をする
3. 各協議会の動きについて状況の共有
4. その他
 - ・SportsNet千葉10月号の内容について
 - ・半年間の募金の額393,860円
(役員関係のカンパが大部分)
今後は冬季年末カンパに取り組むことに
 - ・日本スポーツ協会の活動継続補助金の申請について
卓球協議会の申請を行う、テニス協議会は申請に間に合わない模様（9月中に申請する予定）
 - ・コピー機（複合機）のリース契約変更を検討

スポーツアラカルト

自己紹介も兼ねまして(°)(。)^°コッ

新日本スポーツ連盟との出会い

今年から千葉県連盟の事務局長に選任いただいた佐々木睦昭です。

生まれは北海道、仕事は某市役所の職員です。学生時代は、貧しくてスポーツを楽しむ余裕がなかったため、スポーツと呼べるものは、就職してからの経験のみです。

就職してからは、バイトバイトで明け暮れた学生時代の反動のように、「テニス」「ソフトテニス」「バレーボール」「バドミントン」「スキー」「スノーボード」「山登り」「スキューバダイビング」いろいろなスポーツにチャレンジしてきました。

定年を翌々年に控えた12月、職場で組合活動をしていたので、その先輩から「あってもらいたい人がいる」と電話があり、会ったのが前事務局長の金子さんでした。

「事務局を手伝ってほしい」と依頼され、断りベタなため県連盟の事務所に出入りしていたところ、「スキー祭典というイベントがあるから参加してみない!？」と誘われ、スキー協議会に加盟することとなり、千葉県勤労者スキー協議会の事務局を引き受けさせてもらっています。中級指導員と全国の競技部員もやらせてもらっています。

また、走るのが苦手な僕が千葉県ランニングクラブに入っていると、仲間は誰も信じてくれません。でもランニングクラブにも入っています。

先輩の一言がなかったら、今の自分はいませんでした。

今はいろんな大会に顔を出し、多くの会員の皆さんとの出会いを楽しんでいます。

結構楽しい活動をしているようですが、日常の事務仕事のほかに、機関紙「SportsNetちば」の印刷構成やホームページの更新等を担当しているため、テニスや山登り、ダイビングなどに行けない日々が続き、ややストレスを抱えています。

でも、9月はスキー（プラスノー）に行き、テニスにも行き、10月の初旬には山にも行く予定です。

いろいろな種目をかじったおかげで、多くの友人に恵まれました。

スポーツ連盟との出会いは、こうした仲間との出会いも作ってくれました。

皆さんも、多くの仲間と出会ってください。

常任理事 佐々木 睦昭

クラブ紹介 カメラード

卓球

市川市は小中学校にPTA卓球部が有り、主にそれぞれの所属する学校で練習をしますが、ビジターとして他の学校へ練習に行く事も多くありますので、メンバー同士の交流も盛んです。

人数は40才代から80才代まで30名程度おります。練習日程は、所属する学校によってまちまちです。

- ①クラブ(チーム)名 カメラード
- ②代表者 大島 久誠



密を避けて、パチリ

③チームの概要

(名前の由来・チームの特徴・練習日程・人数等)
カメラードは、同志・仲間という意味で、市川市内在住・在勤者有志の集まりです。

スポーツ連盟の登録団体ではありませんが、市外の試合に参加する時にメンバーを組んで「カメラード」の団体名で挑戦しています。



稲数さんのレシーブ



小野寺さんのレシーブ

④クラブのアピール

「カメラード」メンバーは皆、「バカ」がつくほど卓球を愛しています。

若手も高齢者(最高齢85才)も、気のいい人間ばかりです。

20年度は参加出来る試合がほとんど無い中、チャンスがあればと胸膨らませているつわものもおります。

どこかの大会で「カメラード」の名前を見つけた折には、どうぞお気軽にお声掛け下さいませ。

スポーツ予算増額・スポーツ施設改善要請の署名にご協力を

今年も8回目となるスポーツ予算増額・公共スポーツ施設改善要請行動を千葉県教育庁教育振興部と千葉市文化スポーツ部に対し実施いたします。

新型コロナウイルス感染拡大の懸念が叫ばれている今だからこそ、安心してスポーツができる環境を作る必要があります、それを実現するための予算の確保は必須といえるのではないのでしょうか。

両部局との話し合いに際しては、署名を(昨年は約600筆以上)持参し、多くのスポーツ愛好者の声という形で要請を行っています。

スポーツセンターのトイレ改修やテニスコートの管理棟の改修など身近な課題から千葉公園体育館の建て替え問題など大きな問題まで様々な課題に取り組んでいます。

課題実現のため現在連盟では署名に取り組んでいます。

各種目の大会会場で集約しています。是非ご協力をお願いします。



SPORTS CALENDAR

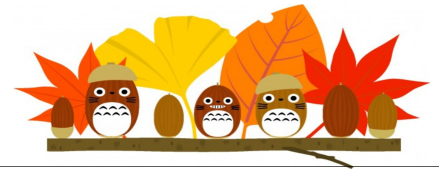
10月

- 10月 3日(土) 全国スポーツ祭典テニス特別大会
混D・シニアチーム対抗男女
- 4日(日) 野球協議会リーグ戦
- 10日(土) 全国スポーツ祭典テニス特別大会
女子・男子・混合チーム対抗
千葉県スポーツ祭典・卓球大会・個人戦
- 11日(日) 野球協議会リーグ戦
- 17日(土) 全国スポーツ祭典テニス特別大会
混D3ペアチーム対抗
- 18日(日) 野球協議会リーグ戦
- 25日(日) 野球協議会リーグ戦

野球協議会 キャプテン会議 10月17日

11月

- 11月 1日(日) 野球協議会トーナメント戦・リーグ戦
- 8日(日) 野球協議会トーナメント戦・リーグ戦
サッカー協議会リーグ戦
全国スポーツ祭典テニス特別大会
- 14日(土) 創立50周年記念行事(予定)
- 15日(日) 野球協議会トーナメント戦・リーグ戦
全国スポーツ祭典テニス特別大会
- 22日(日) 野球協議会トーナメント戦・リーグ戦
サッカー協議会リーグ戦
- 29日(日) 野球協議会トーナメント戦・リーグ戦
サッカー協議会リーグ戦
鈴木杯テニス大会



ブラック・ライブズ・マター (黒人の命は大事だ) ~~差別はあってはならない~~

ブレオナ・ティラー、イライジャ・マクレーン、アフマド・アーベリー、トレイボン・マーティン、ジョージ・フロイド、ファイリド・カステイル、タミル・ライス。いずれも米国籍の黒人で白人警察官の違法とも思える暴力で命を奪われた7人の方々です。とりわけ、8分近く白人警官の膝の下に押されて命を奪われたジョージ・フロイド氏の名前は今でも憤りが収まりません。

テニスの全米オープン大会で2年振りに優勝した大坂なおみ選手がコートに現れる際に黒いマスクを着用していた様子を多くの方が目にしていると思います。冒頭挙げた7名の名前は大坂選手が着用していたマスクに記されていました。1回戦のインタビューで彼女は全部で7枚用意している、と答えていましたが、7枚全部を着用してコートに現れるには決勝戦まで勝ち抜かなければできません。決勝戦まで勝ち上がったことから結果的には7名分のマスクを見せることができました。それだけ今回彼女は絶対優勝するという自信と差別を許さないという思いをもって本大会に出場していることを多くの人に知らしめることとなりました。

彼女は常々「アスリートである前に一人の黒人女性である。スポーツ選手が政治的発言をするなということはおかしい」と発言しています。

彼女はなぜこのような行動に出たのか？優勝後のインタビューで7枚のマスクについて「どんなメッセージを送りたかったのか？」との問いに「あなたはどんなメッセージと受け取りましたか？その方が大切です」と逆に質問者に問いただすシーンには、差別はあってならないという彼女の強い意志を示し、大会に臨んでいたことを裏付ける発言ではなかったかと思えます。

日本ではとにかくスポーツに政治を持ち込むな！という論調が強いものがあります。私たちが取り組んでいるスポーツ連盟の活動にも色眼鏡でみる風潮が少なからずあります。今回の大坂選手の行動には私たちの運動にも通じるものを感じます。コロナ禍でなかなか大会開催ももどかしいものがありますが、自信をもって日常の活動に臨んでいきたいものです。



理事長の独り言